

# (福岡県) 『第64回日本医学検査学会における 日本赤十字社の血液事業紹介および献血の実施』

九州ブロック血液センター学術情報課と福岡センター関係課が共同して学会参加者に対し、血液事業の紹介と献血を実施。

【目的】 第64回日本医学検査学会において、学会参加者へ日本赤十字社の血液事業（献血から輸血まで）を紹介し、理解を深めていただき、さらなる相互協力を推進する。

【内容】 ①献血バス2台配車による献血の受け入れ(福岡センター)  
②血液事業紹介コーナー(九州ブロック学術情報課)  
・会場内に展示ブースを設置(ビデオ上映、パネル展示、質問コーナーなど)

【実施日・場所】 平成27年5月16日(土) 福岡市 マリンメッセ福岡

【対象者】 学会参加者 約3,000名



【実施方法】 イベント企画会社とブロックセンター、福岡センター担当者による打合せ。

【予算額】 65,500円(献血者処遇品:150名分)

【来場者】 献血参加者:120名、採血:109名

【効果(評価)】 学会参加者への血液事業についての理解促進と当日の献血協力を得ることが出来た。



## (福岡県 北九州事業所)

# 『地元民営鉄道と協働した献血広報活動』 (ラッピング電車の運行)

【目的】 献血広報媒体として、管内に路線を有する民営鉄道会社に協力を仰ぎ献血広報を展開。

【内容】 地元民営鉄道会社(筑豊電気鉄道株式会社)所有の車輛1編成(2両)に献血告知のフルラッピングを施工、沿線住民への献血推進を展開する。

【実施期間・場所】 平成27年1月21日(水)～(2年間)  
北九州市八幡西区～直方市の区間

【対象者】 沿線住民及び利用者

【実施手順】 実施期間中において、ラッピング車輛の走行により、献血も普及啓発を実施。

【予算額】 2,000,000円 (広告費:1,000,000円 作業費:1,000,000円)

【評価】 本電車の運行開始の1ヶ月前に移転開設を行った新献血ルームの広報活動と相乗し、周囲に献血の普及啓発に繋がった。また、沿線には高校が多くあり、本鉄道を通学手段として利用している高校生への広報手段として有益なものとなる。また、本電車運行開始にあたり、鉄道運営会社との間で友好的な関係が形成され、ポスター掲示の無償対応等、今後の広報展開に有益となる形ができあがった。

(福岡県 北九州事業所)  
『地元民営鉄道と協働した献血広報活動』  
(ラッピング電車の運行)

